地方大学・地域産業創生交付金（富山県）〈計画期間：H30年度～R９年度（R4まで国費支援）〉（「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造計画）

概要

- 富山県内の産学官によるコンソーシアムを構築し、**高付加価値医薬品の実用化や、医薬品生産の技術革新により高品質で安定した供給生産体制を目指す**とともに、「くすりの富山」を支える専門人材を育成。
- 富山大学ではシーズ発掘・育成を通じた創薬を目指す研究開発、富山県立大学では医薬品の製造工程における品質管理やDXによる医薬品生産の技術革新の取組を実施。
- 県内製薬企業は、両大学の研究開発成果を、一層の製造能力の強化につなげることで、医薬品産業集積地としての競争力を強化。

医薬品分野における「創薬」と「製薬」の２つの「つくる」の研究開発を推進

成果

（大学）

- 富山大学では**医薬品など試料中の生菌の有無をわずか６時間～１日で調べられる「迅速無菌検査法」を開発（標準的な無菌検査は14日）**し、R４年度には大学認定第一号となる大学発ベンチャー「LABTECHS株式会社」を設立。Ｒ６年度には**臨床研究開発推進センター**の体制強化を行い、臨床研究のDX化を推進するとともに、研究者を対象とした研修の実施、臨床研究計画の改善に向けた助言、研究データ管理のサポートを通して、研究支援の更なる充実を図った。
- 富山県立大学ではR３年度に大学院修士課程の生物工学専攻を「生物・医薬品工学専攻」に改組・定員増を行い、**県内医薬品産業界の人材育成ニーズに対応。医薬品の製造工程で用いる触媒として、 植物由来の環境にやさしい有機分子触媒を開発し、 販売開始。**

（産業）

- **県内製薬企業と富山大学の連携により、新規口腔内フィルム製剤を共同開発。**特定臨床試験を完了し、実用化に向けて着実に進展。
- 食品原料メーカーと県内製薬企業、富山県立大学の連携により、腸内細菌調整作用のある機能性表示食品の実用化を推進。

（産官学コンソーシアム）

- R５年度より**全国の学生を対象としたネクスト・ファーマ・エンジニア養成コース**を開始。創薬・製剤・品質管理・保証等の専門講義のほか、R6年度からは県内製薬企業見学を実施するなど受講者のニーズに合ったプログラムを提供し、県内製薬産業の就職者増につなげる。
- **医薬品の革新的な製造技術の導入支援や製剤開発に関する県内社会人向けの研修会を実施し、**企業での実装につなげるなど生産性向上に寄与。

富山県の医薬品産業の中核を担う人材の育成

連続生産導入支援研修

糖たんぱく質解析実習（学生向け）

製薬企業でのインターンシップ

事業責任者： 森　和彦（日本製薬工業協会専務理事）
主な参画機関：（官）富山県、（学）富山大学、富山県立大学（産）一般社団法人富山県薬業連合会

＜令和６年７月時点＞